

Ⅷ 指導計画の評価と改善

年間指導計画の評価を行うことで、キャリア教育の一層の推進を図ることができます。

キャリア教育の目標の達成を目指した指導計画が効果的な働きをしているのかを適切に評価し、その改善を図ることが必要です。

年度初

全教員による全体計画の確認
学年、教科部会による年間指導計画の確認
教員による具体的な学習指導案の作成
年間を通じた評価計画、評価方法の確認

取組後

生徒の学習状況の把握
(アンケート、自己評価、相互評価などを活用した定量的な評価と、観察や面接・面談などの印象に基づく定性的な評価)
教員の自己評価(配当時間、学習内容等)
→必要に応じて、年間指導計画の見直し

年度末

次年度の全体計画、年間指導計画の作成
・ねらい、実施時期は適切であるか。
・体系的・系統的であるか。
・異校種や地域社会との連携は十分であるか。

12月まで

保護者によるアンケート調査、学校評議員の意見等〔参考6ページ〕
教員による評価
(生徒の評価、学校の推進状況の評価)

年間を通じたPDCAサイクルの実現により、継続的かつ充実した、学校独自のキャリア教育を創りだすことができます。

〔参考文献〕

中学校キャリア教育の手引き(平成23年3月 文部科学省)

キャリア教育って結局何なんだ? 「自分と社会をつなぎ、未来を拓くキャリア教育」

(平成21年11月 国立教育政策研究所)

キャリア教育を創る「学校の特色を生かして実践するキャリア教育」

(平成23年11月 国立教育政策研究所)

キャリア教育をデザインする「今ある教育活動を生かしたキャリア教育」

(平成24年8月 国立教育政策研究所)